

平成18年 9月20日

東予地区高等学校卓球部顧問 各位

平成18年度愛媛県高等学校卓球新人大会東予地区予選の運営について（諸連絡）

東予地区高体連卓球専門委員 井出博文

標記の件につき、下記のとおりご連絡申し上げます。

記

1 試合規則について

- (1) 現行の日本卓球ルールを適用する。
- (2) この大会ではタイムアウト制は採用しない。
- (3) ルール等に関するトラブルが生じた場合は、本部に連絡し指示を受けること。
- (4) 試合球は、40mmホワイトを使用する。各校で持参すること。
- (5) 服装に関する規定はこれを厳守し、各高等学校顧問の責任において、トラブルの生じないよう部員にも周知徹底を図ること。なお、違反のあったチーム・選手の出場は厳に認めない。
 - ・ ユニフォームは、シャツ・ショーツ共にJTTAが公認したものであること。
 - ・ 本年度交付のJTTA登録ゼッケンを背面に付すること。
 - ・ 団体戦登録選手のユニフォームは、シャツ・ショーツともに同一であること。
 - ・ 団体戦の開始時においては、登録メンバー全員が上衣半袖ユニフォーム・ゼッケン着用の上整列すること。
- (6) ラバーのはりかえ（接着剤の使用）は必ず風通しの良い屋外で、ITTF公認の接着剤を使用して行うこと。屋内での接着剤の使用、非公認の接着剤や溶剤の使用が発覚した場合は、即時に本大会ならびに上位大会への出場を停止する。

2 試合進行について

団体戦より開始し、空き次第できるところからシングルスを行う。シングルスの決勝終了後、最後に団体戦決勝を行う。

3 その他注意事項

- (1) 団体戦は相互審判、個人戦は最初のみ相互審判(番号の若いチームから)で、以後は敗者審判とする。
- (2) 団体戦のベンチに入ることのできる人員は、登録選手7名・監督1名(当該校長の認める届け出のある指導者)とする。ベンチは、番号の若いチームが本部席に向かって左側とする。
- (3) 団体戦の開始から終了までの間、選手はベンチから離れてはならない。やむを得ぬ理由でベンチを離れる場合は、相手チームの監督の許可を得ること。
- (4) 選手は必ず所定のゼッケンを着用すること。ゼッケン未着用の選手は試合を行うことはできない。
- (5) 試合球は本部では用意しないので、相互で持参すること。
- (6) 個人戦のベンチコーチは認めない。試合中の選手、審判以外は、観覧席で観戦すること。
- (7) 練習は3球程度とする。ラリーとラリーの間の進行を早くすること。セット間の監督からのアドバイスは、1分以内とする。敏速に行動し、試合進行に協力すること。
- (8) 選手は高校生らしいマナーに徹すること。バッドマナーに対しては、警告 失点 失格 の罰則を課す。
- (9) ゴミは各チームの責任において処理し、帰る際必ず持ち帰ること。会場にはゴミ箱は設置されていない。(ゴミ袋は、本部で用意する。)
- (10) 選手変更は、申込書提出後は一切認めない。
- (11) 団体戦は総体・新人戦とも4～6名による4シングルス1ダブルス(S・S・D・S・Sの順)の試合方式である。ただし、1・2番のシングルスの選手同士がダブルスを組むことはできない。(4、5名の場合は、シングルスに出場した選手が、ダブルスも兼ねて出場することができる。)
- (12) 団体戦初戦のオーダー提出は8：45(時間厳守)とする。いったん提出されたオーダーの変更は認めない。オーダー用紙は、1枚に左右同一オーダーを記入し、本部に提出すること。
- (13) 更衣は体育館1階の更衣室で行うこと。体育館2階の更衣室は、使用禁止とする。
- (14) 体育館開館は8：00、練習開始は8：30とする。